

名刑発第1754号

令和3年3月30日

緊急報告第6号様式

| | | | |
|----|--------------------------------|------------|----------------|
| 宛先 | <p>矯正局長 殿 名古屋矯正管区長</p> | <p>発信人</p> | <p>名古屋刑務所長</p> |
|----|--------------------------------|------------|----------------|

被収容者死亡事案（事故速報）

1 事故発生日時及び概要

令和3年3月30日（火）午前2時49分頃、
勤務中の法務事務官
看守部長（以下「看守部長」という。）が、
を視察したところ、懲役受刑者（以下「事故者」とい
う。）が、首にシャツを巻き付け、

ことから、看守部長は直ちに非常ベル通報した。

同通報を受けて、監督当直者法務事務官看守長（以下「看守長」という。）ほか数名の職員が直ちに同階へ急行したところ、事故者は
とともに、看守部長から事故者が自殺を企図している思料される旨の報告を受けたことから、看守長が同室を開扉し、法務事務官看守、同看守部長（以下「看守部長」という。）及び同看守（以下「看守」という。）が同室に入室した。その後、

事故者を同居室内中央付近に両腕を左右に広げて仰がさせた後、看守部長がAEDを使用し、駆け付けた医務当直者副看守長が心臓マッサージを開始し、同3時頃、看守部長が119番通報した。

この際、事故者の脈拍は確認できたものの、
ため、同時6分、事故者を医務部に搬送した。

同時30分、救急車が当所を出発して事故者をに緊急搬送し、同時42分、当所医師により、事故者をとし、同時56分、同病院医師により事故者の死亡が確認された。

2 事故者名等

- (1) 身分 懲役受刑者
- (2) 氏名
- (3) 生年月日
- (4) 罪名
- (5) 刑期、刑期

- (6) 刑の起算日
- (7) 刑の終了日
- (8) 入所度数
- (9) 制限区分及び優遇区分
- (10) 所内における行状の良否
- (11) 住 所
- (12) 本 籍

3 推定事故原因

4 事故に対し採った措置

- (1) 令和3年3月30日（火）午前2時49分、居室棟勤務者から非常ベル通報があった。
- (2) 同時51分、監督当直者ほか数名の職員が事故者居室に到着し、視察したところ、
状況を認め、直ちに事故者居室を開扉した。
- (3) 同時53分、駆け付けた職員が
事故者を同居室内中央付近に両腕を左右に広げて仰がさせた後、同時55分から事故者に対してAEDを使用し、医務当直者（准看護師）が心臓マッサージを開始し、同3時頃、119番通報した。
- (4) 同時6分、事故者を当所医務部へ搬送した。
- (5) 同時36分 事故者を
に搬送し、同時56分、同病院医師により事故者の死亡が確認された。

5 その他

- (1) 事故当日の収容人員
当日の開室人員は1385名（収容率57.15パーセント）であった。
- (2) 警察署への通報
令和3年3月30日（火）午前4時4分、監督当直者
が豊田警察署に通報した。
- (3) 検察庁への通報
同時8分、監督当直
が名古屋地方検察庁に通報した。
- (4) 現場検証の状況
ア 日時 同日午前10時47分から同11時1分

イ 場所 [REDACTED]

ウ 実施者等

(ア) 名古屋地方検察庁岡崎支部 [REDACTED] 検事以下 2 名

(イ) 愛知県警察本部検視官以下 2 名

(ウ) 豊田警察署鑑識官以下 3 名

(エ) 名古屋刑務所長 宮本 祐康以下 6 名

(5) 司法検視の状況

ア 日時 [REDACTED]

イ 場所 [REDACTED]

ウ 実施者等

(ア) 名古屋地方検察庁岡崎支部 [REDACTED] 検事以下 2 名

(イ) 愛知県警察本部検視官以下 2 名

(ウ) 豊田警察署鑑識官以下 3 名

エ 結果

同日午後 1 時 4 5 分, [REDACTED] 旨の連絡がなされた。

(6) 行政検視の状況

ア 日時 [REDACTED]

イ 場所 [REDACTED]

ウ 実施者

名古屋刑務所長 宮本 祐康

(7) 家族への連絡

(8) 取材の有無

現在のところ, マスコミ等からの取材はない。